

工場見学に来ていただきました！

発行 No.14067

2021年12月27日

—高松市立木太北部小学校 第4学年の皆さま—



11月10日（水）、高松市立木太北部小学校 第4学年 66名の皆様が環境学習の一環で千疋工場に見学に来ていただきました。

見学では、使用済みの自動販売機を解体する様子やアルミ缶についている塗装を熱で剥がす工程を見ていただきました。



自動販売機は、手作業で鉄以外の部品を取り除き、機械を使って圧縮することで、再び鉄の原料として生まれ変わります。なんと圧縮したひとつの塊は約 300kg もの重さがあります。

また、アルミ缶は 500℃の熱で塗装を剥がしてから、アルミ缶造粒機という機械で 1cm ほどの大きさの粒（アルミペレット）にすると、再びアルミ缶などのアルミ製品に生まれ変わることができます。

資源はこうして循環し、少しずつ形を変えながら我々の生活に役立っていることが分かりますね。



【熱で塗装を剥がした後のアルミ缶】 【異物が入っていて焦げたアルミ缶】

しかし、アルミ缶の中にタバコの吸い殻やゴミが入っていると、熱を加えた時に温度が上がりすぎて焦げてしまうため、リサイクルできずにそのまま処分されることになります。



【アルミペレット】

アルミ缶をリサイクルに出す際は、中身が空になっているのを確認してから出すようにしてください。

限りある資源を未来へ残すためにご協力よろしく申し上げます。

